



毎月十五日発行 所 社 会 宗 像 電話 0940-62-1311(代) 定価 一年送料共 1000円

神具・装束 結晶式場用品 株式会社 井 筒 福岡店 福岡市博多区東公園一丁目三十一番(〒812) 電話 福岡(五)六五一九四五(五) 本店 京都市下京区神小路六条北入(〒600) 電話 京都(五)三三三三(代) 三三三三(一) 三三三三(二) 三三三三(三) 三三三三(四) 三三三三(五)

第二十二回 宗像大社

小倉百人一首「かるた大会」

九州かるた協会新役員で飛躍



選集より選歌された和歌の教養誌として現在まで広く人々に愛されて来た「和歌集」である。この小倉百人一首を「歌かるた」として遊ぶ風習は平安の世から昭和、平成に至るまで受け継がれ昨年度財団法人として「全日本かるた協会」が設立された。

常任顧問 岡部定郎 監事 保井 茂 相川 不也 内川 信幸 竹井 雅幸 事務局長 世利 順二 理事 京谷千恵子 藤 和義 中村 昭子 吉田文三子 森山 隆夫 田畑 謙 長田 清司 片瀬 亮子 佐々木 宏 原野富美子 川畑トヨ子 南里 祥子 矢山 起江 原岡 信子 世利 夏代

第二十二回

優勝・鶴田 究(鹿児島県)

第二十二回A級は三十二名の選手で競われ、鹿児島県かるた協会の鶴田究七段が連続優勝を飾った。鶴田七段は五回戦を連勝で優勝盆を手にした、二位以下各バート成績は次の通りです。

二位 佐藤喜久江 東京 かねた協会 三位 富村 信也 熊本県 かねた協会 又開会式の中で、今年初段に合格した人々に段位状が授与された。 福岡県粕屋郡宇美町 小杉 美央さん 福岡県飯塚市立岩 浦田 奈留美さんの二人です。今後益々の活躍を祈ります。おめでとうございました。

六月十四日、二十一日の両日曜日、当天社清明・斎館に於いて第22回宗像大社小倉百人一首かるた大会が開催された。十四日には低級(D・E・F)の小高段で約百人が参加、又二十一日には上級(A・B・C)有段者の大会で約百人が参加した。小倉百人一首は「小倉山荘色紙和歌」と呼ばれ、

上代から平安、鎌倉初期にいたる和歌から歌人百名を選び、一人一首づつ百首を集めた和歌集である。この歌集の選考については諸説あるが、藤原定家が選したとする説が古くからある。歌人は天智天皇を始め中廣、平安朝を中心に鎌倉初期の西行法師から順徳院に至るまで、「古今集」から「続後撰集」にある勅

九州かるた協会新役員 名誉会長 原田敬次郎 参 与 原 勝興 高岡 正秀 佐藤 豊



この「デ・リーフ」号は一年十月に及ぶ航海途中、豊前国沖臼杵で遭難し乗組員百十名中生存者二十四名と云ふ惨事に合った。この生存者の中に、ウィリアム・アダムスやヤン・ヨーステンが居た。徳川家康からその博学を称賛され今日のオランダ国との交流の礎を築いた人等である。 この「デ・リーフ」号の船首に飾られていたのが、この「カテキさま」と呼ばれる木像だった。関東の地に運んだのは、龍院を菩提寺とする牧野家で、功績により家康より拝交し祀ったと云う。 約四百年ぶりに帰郷する「カテキさま」は日本・オランダ両国の新しい交流の礎となると思ふ。

平山千津子 白井百合子 真田 義則 小原 まや 橋本いづみ 花田 和代 松本 美加 池田美穂子 近藤 佳奈 藤木 淳 (学生代表・九大会長) 以上の役員である。 又各部体制は、競技審判部に田畑部長以下四名、競技運営部に長田部長以下七名、誦唱部に京谷部長以下七名の人々が努める事となった。 若い役員で二十一世紀に向かつてさらなる飛躍、会員増を目標に頑張る決意がうかがえた。



ルートとは古きを訪ね、新しき交りを生むエネルギーでもある。

暑中御見舞申し上げます



出光



出光興産株式会社

男 敦 本 橋 与 参 福 岡 支 店 長

福岡市中央区大名2丁目8番26号 TEL 092-761-1831

田植準備の始まるころになると、日本の農業の行方を憂うてはならない。政府は日本の稲作をどう考へ、国民はどのように受けてゐるのか。

憂ふべきことのあるにも多い今日の国情の中にあつても、最も憂慮される状況にあると思はれるのに、また危機感が足りないのか真剣な議論も興らないままに筆を動かしてゐる。三年連続の不作に对应せず、外米 三百万トンを超える輸入したあの平成四年のコメ騒動も忘れたい。余剰米のことはかりが強調されて、減反財政政策に象徴される農政の貧困は目に余るが、稲作が生産性や経済性の問題としてだけでなく、国家の環境問題といふ新しい視点から捉へられようとしてゐるもの、まだ国民共通の理解にはならない。まして日本の伝統文化や信仰などの観点から掘り下げて考へてみようとする動きもあつてゐる。

しかし実際には一度の御飯を腹いっぱい食べられるやうな家庭ではなかつたわけで、強い願望の表れでもあつた。筆者の幼いころ、「寄落」と呼ぶ田植後の神社での料理の持ち帰りの食事は何よりも楽しかつた。「宮籠籠」とも言ひ、老若男女が寿司や手料理を分け合つて秋の豊作を嘗みながら歓談の思い出が甦つて、生活共同体としての集落があんなにも連帯感で結ばれてゐた時代がやはり「結び」とか「玉團圓」とかいつて協力し合つた農作業や「猫の手も借りたいほど」の農繁期には子供も手伝はなければならなかつたこと、しぜんに習はれたものであつた。

食糧の巨額消費はわつと四〇％の年間約三百四十万トンの推計される食糧の消費量や、家族団らんや習慣が失はれて個人優先の孤食化の傾向があらわれつつある報告は、異常な状態として受けとめられなければならない。成り行き任せの風潮が強い。最も気になるのは農畜数急激な減少傾向で、昭和三十五年の六百万戸が平成七年の三百四十四万戸へと四三％の減少は、この国を支へてきた基礎

が大きい揺らいでゐることを示している。これに对应する政策として、農地の集約による規模の拡大や近代化の専門農家の育成などが叫ばれてきたが、それはまことに空しい机上の論理であつた。筆者は、地域社会を支へて行くために、これ以上農家を減らしてはならないと折あることに話して来た。たとへば三反でも五反でもよい、兼業でも農業を続ける家が、戸でも多いことが大事なのであつて、村に僅かの専門農家が生き残つたとしても、それはもはや農村ではなく、地域は変貌してしまつて、伝統も文化も継承されなくなつてゐる。

「人間は土に親しむことを忘れてはならない」といふ教を他国から学ばなければならぬ。と農業界の国に果ててしまつたのだらうかと嘆いてゐた。最近、高度成長期にサラリーマンになつて村を出て行つた者たちが、いまだ年を迎へつて、すでに帰郷した者が六万人にのぼるといふ記事を読んだ。新しく農業を主仕事とするやうになつた人が平成四年には四万人だつたのが、平成八年には十万人六千人になり、退職後は自然に親しめる田舎暮らしと新移民者のあることも知つて、聊か心の晴れる思ひがした。

経営の担ひ手として若い就業者が地域に貢献してゐることは斯界のよく知るところだが、過疎化はまた進み、農業後継者を失つた地域の衰退には歯止めがかけられないといふ地方も多い。そんな状況の中にあつては神社を維持することも容易ではないが、地域を支へる農業と神道の役割は一体のものであるといふ感覚が斯界から欠落しつつあるのではあるまいか、と思ふことがある。

約四反あるわが家の田圃に水を引きながら、新移民者のつもりで稲作をまた始めてみようかと思つてゐる。

（神社新報）

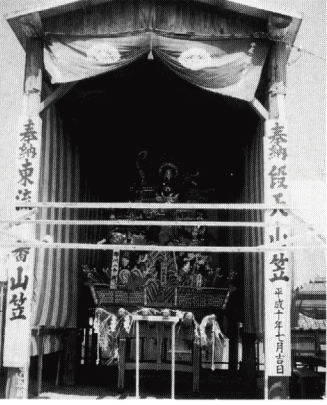
夏が来た!!

山笠飾り・海開き

七月は夏祭りシーズンである。市郡内各地で、手拭い・ハチマキ、シメコミ姿が目立つ様になる。

神郡宗像でも一番を飾り神楽段地区の山笠飾りが六月二十八日雨の中が開かれた。関係役員多数が参列し「おおい」を受け、今年響く様になる。

の走り山笠。安宅参りの玉串をささげた。来たる七月五日の日曜日には、神楽の町中を「刀水」を受けながら勇壮に走り抜ける。この山笠神事が終わると本格的な夏となり、海岸場も賑わい始める。海浴場の砂遊び、波遊びの子供達の声が響く様になる。



「海開き」

玄海町観光協会主催の「海開き祭」が七月一日、神楽の海岸で挙行された。和町長を始め関係団体代表約百名が参列し、今年の海水浴場の安全と、来客の福を祈り玉串を捧げた。今年の梅雨は例年より雨が多かつた。梅雨明け真夏の太陽が今朝も輝いている。

地域を支へる農業と神道

欧米圏では社会的地位立場にある人が、週末の休みに自ら農業に携はることを誇りとし、よこびを感じてゐるといふ話を聞いたことがある。それは、自然に親しみ、植物の成長を待て、自らに成るものを食すといふことに人間の尊厳の第一義的な意義を認めてゐるからといふ。そこには経済的な感覚で農業を云々する以前の価値観があり、本来の人間らしさを回復しようとする願望と謙虚さがある。

「人間は土に親しむことを忘れてはならない」といふ教を他国から学ばなければならぬ。と農業界の国に果ててしまつたのだらうかと嘆いてゐた。最近、高度成長期にサラリーマンになつて村を出て行つた者たちが、いまだ年を迎へつて、すでに帰郷した者が六万人にのぼるといふ記事を読んだ。新しく農業を主仕事とするやうになつた人が平成四年には四万人だつたのが、平成八年には十万人六千人になり、退職後は自然に親しめる田舎暮らしと新移民者のあることも知つて、聊か心の晴れる思ひがした。

社務日誌抄

- 六月一日(月) 月次参拝行前十一時 併せ、天皇皇后両陛下 欧州行幸宮内省参拝願察
- 六月四日(木) 参拝、出光福岡支店宮下支店長転任挨拶に来社
- 六月六日(土) 参拝、出光興産福岡支店長橋本敦男氏他三名、来社、西日本新聞吉義利彦部長以下三名
- 六月十一日(土) 参拝、神本教地主神田中川宮司他十名
- 六月十三日(月) 出向、第八回式大台研修旅行団九十名出発、神道講演研修於神本社
- 六月十七日(木) 御渡歐遊幸最景景原
- 六月十七日(木) 参拝、神本社教地主神田中川宮司他十名
- 六月二十一日(月) 出向、第八回式大台研修旅行団九十名出発、神道講演研修於神本社
- 六月二十七日(日) 正式参拝、出光興産代表取締役社長出光昭氏、常務取締役大坊昭彦氏、同遠山寿一氏、出光美術館館長代理和田恒彦氏、総務課長江崎寛治氏、福岡支店長橋本敦男氏
- 六月二十七日(日) 正式参拝、出光興産代表取締役社長出光昭氏、常務取締役大坊昭彦氏、同遠山寿一氏、出光美術館館長代理和田恒彦氏、総務課長江崎寛治氏、福岡支店長橋本敦男氏

田責任役員監査員出席 六月十四日(日) 神賑行事、第二十二回 宗像大社小倉百人一首 かるた大会開催

六月十五日(月) 月次参拝行、午前十一時併せ、天皇皇后両陛下 御渡歐遊幸最景景原

六月十七日(木) 参拝、神本社教地主神田中川宮司他十名

六月二十一日(月) 出向、第八回式大台研修旅行団九十名出発、神道講演研修於神本社

六月二十七日(日) 正式参拝、出光興産代表取締役社長出光昭氏、常務取締役大坊昭彦氏、同遠山寿一氏、出光美術館館長代理和田恒彦氏、総務課長江崎寛治氏、福岡支店長橋本敦男氏



暑中御見舞申し上げます

福岡シティ銀行

自由ヶ丘支店
支店長 江上孝一
宗像市自由ヶ丘二丁目七七一
TEL 〇九四一三三三二一五

日の里支店
支店長 吉良忠明
宗像市日の里一丁目六二〇四一
TEL 〇九四一三二六一二八八

福岡支店
支店長 新留育郎
福岡町大和町二七三八一〇
TEL 〇九四一四二二二二三

赤間支店
支店長 西川治
宗像市大字土穴三九七一九
TEL 〇九四一三三三二五六五

日の里支店
支店長 上杉政洋
宗像市日の里一丁目二九一八
TEL 〇九四一三三三二六七七

赤間支店
支店長 佐藤政義
宗像市大字土穴二〇一一二
TEL 〇九四一三三三三三四一

西日本銀行

自由ヶ丘支店
支店長 江上孝一
宗像市自由ヶ丘二丁目七七一
TEL 〇九四一三三三二一五

日の里支店
支店長 吉良忠明
宗像市日の里一丁目六二〇四一
TEL 〇九四一三二六一二八八

福岡支店
支店長 新留育郎
福岡町大和町二七三八一〇
TEL 〇九四一四二二二二三

赤間支店
支店長 西川治
宗像市大字土穴三九七一九
TEL 〇九四一三三三二五六五

日の里支店
支店長 上杉政洋
宗像市日の里一丁目二九一八
TEL 〇九四一三三三二六七七

赤間支店
支店長 佐藤政義
宗像市大字土穴二〇一一二
TEL 〇九四一三三三三三四一

出光興産株式会社 新社長 出光 昭氏 参拝



神室館を参拝された、太田宮司の案内で、店主出光佐三氏が出光佐三社復興期成会会長として盡

六月十七日早朝出光興産株式会新社長出光昭氏一行が参拝された。五月二十一日だけで辞任された前社長出光啓祐氏の後任として六月十七日社長に就任された、その神前奉告祭に参拝されたのである。出光昭氏は二代社長出光計助氏の御子息で、店主出光佐三氏の甥に当たる。一人間重一消費者本部

力された、神島沖ノ島學術調査により明らかになった神玉の数々の説明を受けられた。神室館参拝後一行は鎮国寺を参拝され筑前大島に渡島された。筑前大島に鎮座の宗像大社津宮では昨年改修大造営され本殿に参拝され、境内を拝見された。さらに同島最高峰に鎮座する御祭宮に参拝され山上より海上はるか沖ノ島を望まされたが、天候悪く神島は霧中にあり望めなかった。下山後津宮管理所より

浦安舞温習(練習)記
天地の神を祈る。朝なぎの海にのどくに波たたかせよ。

昭和天皇御製和歌を皇紀二千六百年(昭和十六年)奉祝の際、祭舞と制定された。全言津波浦安の神社で奉納される浦安の舞である。この舞の温習が毎年全県神社音楽協会が長多静子先生の指導で開催されている。

店主出光佐三氏は宗像市赤間に生を受けた。出光興産株式会社の創設者で、九州経済界にも大きく貢献された。特に神郡宗像地方発展に盡瘁された。

福岡教育大学誘致移設を始め高校、中学、小学校、公民館等々にその功績は今の宗像郡発展に大きく寄与されている。この繁栄祈願の参拝が続いている。

名屋 小田 喜一 夕雷の響ききき音に遠き田の蛙の声の和すに聞こゆ (評) 天と生き物たちの交歓のひとときを逃がさなかった作者。過ぎ去った田園風景へのノスタルジアがあるのだろう。こころあたたまる作である。

田野 森 甲子山畑にひとり毎の飯桶する (評) 腰をかためての毎の飯桶。それ山畑ともなれば以外と重労働であらう。そんな中で鶯の声を楽しみ一首を作った作者。短歌のよるこびはこんな処にもある。

土穴 瀧口 敦子 緑濃き山のあいに現われし沼はゆたかに水漕をり (評) 乱開発による国土の荒廃が叫ばれて久しい。この一首そんななかにあつて心救われる風景である。一首目「沼はゆたかに」二首目は光る瓦と連山の緑を対応させて共にまた私達の周辺にある自然の美を描き出している。

光岡 四之宮 惠子 日没の迫りたる黄昏色残るなか鶯飛び行く

第四回 宗像大社歌会詠草

大野 展 男 選 毎月25日(厳守)

日里 石松 知子 江戸島浦吹き満ち苑わたる風花に染まりて太道めぐる (評) 枝と葉と葉と動くかすむらびは梅雨の合間の陽がさして旅に出である夫の地おもふ

原 町 八波 五月いつ見ても在りし日の如語る如夫の遺影を見下ろす (評) 遺影を見下ろす

光岡 河村 久光 玻璃こしに見える雲雀は中天にしきりに羽根うち同高たもつ

池田 小田 イセ 蕨賣りの身の上話といひかれ要るにあらねと一枚買へり

鐘崎 安永 久子 剪り落ちし数多の小枝燃やし終え夫と庭師の談議は長し

光岡 森田 富彦子 眼の悪るき吾には定かならねども降り出す雨に小鳥ら飛び立つ

名屋 小田 留子 塗りたるのセメントの上を悠然と野良猫ゆけり足跡残し

福間 一宮 末子 雷に続き大雨降りつづくどこにひそむか野鳥のむれは

有安 原田 衛 工場場に雨にもめげず元氣よく働く人々羨しくあり

自由ヶ丘 細川 絹子 夏の日は返えし光る池の面に岸辺の松は影つし立つ

武丸 中村 さき 華麗なる和服姿で八十歳の吾らは踊るユリックス(こ)

暑中御見舞申し上げます



宗像支店
支店長 古橋 栄二郎
TEL 0940-3612017

福岡支店
支店長 藤田 博之
TEL 0940-4212246

赤間支店
支店長 石川 栄敏
TEL 0940-337211

福岡中央銀行
支店長 北村 正博
TEL 0940-3333211

宗像農業協同組合
代表理事組合長 長谷川 裕
宗像市大字東郷六六一一
TEL 0940-3614110

株式会社 九電工業
所長 緒方 勇
宗像郡福岡町二五九七番地
TEL 0940-4211120

宗像市 宗像市大字東郷六六一一
TEL 0940-3614110

宗像大社歌会
俳句作品集 四二二

福岡 森 清
潮騒や青羽光る島五月

自由ヶ丘 細川 穂子
梅雨寒 真夜中はしる 救急車

福岡中央 山下しづえ
梅雨 昨日日曇さし 今日もまた

日里 花田いつ枝
柔らかに抱きて揺るる 花菖蒲

藤沢 井上 玄洋
やまもに思ふ故郷の山河かな

東郷 吉武 湧泉
西向きを霞霧でかこむ 八百屋店

東郷 中野 きみ
入梅や老ひて楽しき 余暇のあり

東郷 吉田 裕子
若葉風怒し呼び入れ 句座の席

東郷 吉田 亨子
鶯の鳴く声やし熱なき日

東郷 三浦蓮子代
雪解水鳥の鳴声消しにけり

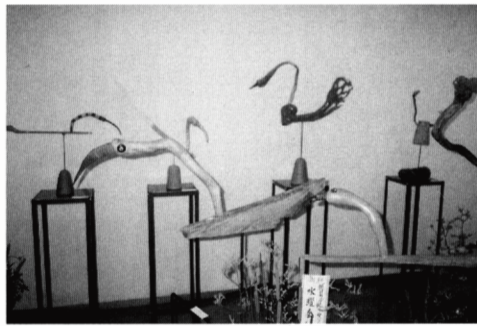
東郷 有吉亜紀子
恋しきはくに友垣茶壺鈴

東郷 田中 雨葉
澄石の冷めて千年 ほととぎす

東郷 大原 厚子
予定なきまことの暮 麻汗

(続) 浜の寄物

128



福岡町の漁港整備工事が急ピッチで進められている。現在漁港の南側も埋立て工

事が半分ほど進んでいる。近くの広場や駐車場ではコンクリートブロック(ワー

島の遊漁船が準備をはじめ九時と十時は沖ノ鳥へ出発するが、その時間

川から海へ埋木や木材の流出が多い。最近ではこんな

多量に発生する。沖には一面イカ釣り船の集魚灯が

雄氏は六月下旬、小倉の画廊りつで「鳥の時」と題

先日、福岡北原浜を歩いていたら、大きな流木があ

電話 〇九四〇一六二二二五番

電話 〇九四〇一六二二二五番

ロック重さ〇〇〇〇造り出すすめられ 巨大なクレーンが動きあつて 工期は平成十一年三月五日までである。工事作業が五時過ぎに終わると、港内では沖ノ

この朝行かも木のくれ暗たどまらにおぼし我若道にたれよがこ鳥 秋の野の秋みしだき 鳴鹿つづく角嶋 浪まより見ゆ 六月朔日 西北の海を見わ

の磯へちかくすみてあたりしが、近きころは見えず。二十七日(六月)。きのふより海あれ、白浪いやたつ。防人のやどりの南の磯は、太鼓石とて、岩の根地中より生出たるにあらず、磯にはへたる石にすわりたる

あらかれ幻想的な鳥が乱舞していた。昨秋、甘木に移られた写真家・彫刻家の鈴木弘仁氏も、福岡市西浦海岸や糸島

電話 〇九四〇一六二二二五番

電話 〇九四〇一六二二二五番

電話 〇九四〇一六二二二五番

青柳種信著 瀛津島防人日記(上巻ノ十二)

潮のみつれば、窟の内に浪打いる。又、その少し南の方の磯に、高六七丈ばかりの刻のさましたる大巖ありしが、近年大波にてをられたりとして、三段になりてあり。

此あたりの磯の岩ども、皆あやみ形也。又、高き岩岸に、繩を懸けてのほり下りする所あり。岩の上より、水の下たり落ちて打ちたる。故霧雨ともいふ。そこをゆくにて

津島のゆめあふたねこの五六日はかりがほどは、大なる龜も、磯ちかき海にこら浮出てあそぶ。又、五月の初つころより、いるかのいとよなるが、こ

からよせぬ沖つし守」とよめるは、此所也と、貝原翁いへ。此岩浪の打する處とに、ゆるゆらと動くを、人々あやしみて、其大さを量見

るに、高二尺二寸、長四丈四尺、横五丈六尺あり。また向ひなる小屋嶋は、浪の打ちよするさま、さまざまに響ふべき物なり。こはよのつねの磯の岩な

上巻終

電話 〇九四〇一六二二二五番

電話 〇九四〇一六二二二五番

電話 〇九四〇一六二二二五番

暑中御見舞申し上げます

玄海国定公園の中心…白砂青松の海水浴場…宗像大社からバス5分…神湊旅館組合

市外局番 (0940)

魚屋旅館	電話 〇九四〇一六二二二五番
魚屋別館	電話 〇九四〇一六二二二五番
みなと荘	電話 〇九四〇一六二二二五番
玄海旅館	電話 〇九四〇一六二二二五番
高嘉旅館	電話 〇九四〇一六二二二五番
ニユ一千鳥荘	電話 〇九四〇一六二二二五番
リゾートホテル ユー倶楽部	電話 〇九四〇一六二二二五番
松風荘	電話 〇九四〇一六二二二五番
泉館	電話 〇九四〇一六二二二五番
はま荘	電話 〇九四〇一六二二二五番
神湊スカイホテル	電話 〇九四〇一六二二二五番
玄海口イヤルホテル	電話 〇九四〇一六二二二五番